英語塾の面談後30日｜改善確認シート

面談で決めたことを、学校の答案と本人の自力解答につなげるための記入用シートです。

面談日：＿＿＿＿＿＿＿＿　**学年：**＿＿＿＿＿　**次の学校テスト：**＿＿＿＿＿＿

01　面談で何を変えるか、1枚に残す

最優先の失点	例：学校の英作文で、一般動詞の疑問文の語順を間違える
確認した学校教材	学校ワーク・授業プリント・返却答案の範囲／Lesson
塾が次の授業で変えること	例：解説だけで終えず、初見の英作文を授業内に3問解く
本人が自宅で行うこと	例：隔日10分、同じ型の別問題を3問ずつ解く
塾に共有する方法	誰が、何を、いつまでに共有するか
30日後に判断すること	継続／内容調整／担当変更／指導先の再検討

02　7日・14日・21日・30日の変化を記録

時期	塾が実行したこと・扱った単元	初見の類題（正解／全問題）	本人の負担・次の一手
7日後			
14日後			
21日後			
30日後			

各時点の正答数は、難度が近い「別の問題」で確認。授業日程が違う場合は日数を調整してください。

03　最初と最後を比較する

開始時にできなかったこと	
30日後に自力でできること	

この30日モデルは慶英会が作成した**任意の学習管理用フォーマット**です。学校の評価基準や、成績向上を保証する尺度ではありません。本人の安全・睡眠・学校の正式な提出期限が優先です。

面談後の連絡と継続判断

同じ問題の丸暗記ではなく、別問題に応用できたか・学校の課題に対応したかを確認します。

04　30日後に確認する3つのこと

☐ **授業：**面談で決めた復習・演習が実際の授業で行われた。

☐ **定着：**以前できなかった内容を、解説を閉じて別問題で解けた。

☐ **生活：**学校の提出物・睡眠・本人の希望と両立できている。

3項目に一律の合格点はありません。チェックがつかない項目は、本人を責めずに原因を分けて相談します。

05　状態別に「次の一手」を選ぶ

確認した状態	相談・判断の方向
初見の類題で正答が増えた	今の指導を続け、学校の次単元への接続を確認する。
少し改善したが宿題が重い	学習量を増やす前に、優先する問題と時間を調整する。
弱点への対応は合うが説明が合わない	教え方・担当講師・引き継ぎ方法を相談する。
合意した改善が反映されない	実施できなかった理由と期限を確認し、必要なら指導先を比較する。
本人が強い不安や恐怖を感じる	30日を待たず安全確保を優先し、適切な相談先につなぐ。

06　塾へ送るメッセージ例

> 先日の面談でご相談した英語の復習について、これまでの授業で取り組んだ内容と、本人が自力で解けるようになった点を確認したいです。学校の答案では［困っている問題］がまだ残っています。次回授業で優先する単元・問題形式を、ご相談できますでしょうか。

実際の相談では［困っている問題］を具体的に書き換えてください。氏名・学籍番号等の不要な情報は伏せ、送信先を確認します。

07　次の30日に向けた合意メモ

次の学習目標	
授業で実施すること	
次に確認する日	

記事で詳しく確認： https://blog.keio-edu.com/blog/english-juku-parent-meeting-after-30-days-improvement-review-2026/
慶英会の学習相談： https://blog.keio-edu.com/contact/
確認・制作：慶英会（2026年10月16日）。このシートは教育的な参考資料で、学校や公的機関が定める指導評価・契約変更手続きではありません。契約条件は各塾の正式な規約をご確認ください。